

登録コード	L1733500		開講年度	2026			
担当教員	塩原 佳典			副担当			
授業科目	日本史基幹演習						
英文授業名	Japanese History: Basic Seminar						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・4時限
講義室	人文201演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			・日本近現代史研究に必要な史料を扱う作法を身につける。 ・史料を読み解くための参照枠組みとなる歴史学の研究史や論点を学ぶ。			
	【2022年度以前加付対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			・日本近現代史研究に必要な史料を扱う作法を身につける。 ・史料を読み解くための参照枠組みとなる歴史学の研究史や論点を学ぶ。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】			・日本近現代史研究に必要な史料を扱う作法を身につける。 ・史料を読み解くための参照枠組みとなる歴史学の研究史や論点を学ぶ。			
授業で学べる「テーマ」	地域運営						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	主として日本近代史についての史料を読む。具体的には明治期の地方新聞（『松本新聞』）を輪読しながら、参加者の問題関心に即して関連する史料を発展的に組み合わせる。史料を介して討論を繰り返すことで、日本近代に関する歴史観を相互に深める。 史料を読むためには、歴史学はじめ隣接領域に広く学ぶ必要がある。そのため、政治史、社会史、文化史、教育史、ジェンダー史などの文献を講読する。 また、史料に関連する史蹟や博物館を巡見する機会も設ける。						
授業計画	授業計画 第1週 講読に向けた準備（レジュメ作りなど） 第2週 『松本新聞』について 第3週 藤田省三『精神史的考察』の輪読 第4週 藤田省三『精神史的考察』の輪読 第5週 藤田省三『精神史的考察』の輪読 第6週 藤田省三『精神史的考察』の輪読 第7週 史料を読む（読み合わせ） 第8週 史料を読む（読み合わせ） 第9週 史料を読む（読み合わせ） 第10週 史料を読む（読み合わせ） 第11週 巡見 第12週 史料を読む（担当箇所の講読） 第13週 史料を読む（担当箇所の講読） 第14週 史料を読む（担当箇所の講読） 第15週 史料を読む（担当箇所の講読）（授業アンケートを実施）						
成績評価の方法	報告の内容、討論への参加をもとに評価を行う。無断欠席は認めない。						
成績評価の基準	「史料から論点を見出し、蒐集した関連史料をもとに発展的な報告内容としてまとめ、討論にも積極的に参加している」（卓越している）、 「史料から論点を見出し、蒐集した関連史料をもとに報告をまとめ、討論にも参加している」（やや上にある）、 「蒐集した史料をもとに報告をまとめ、討論にも参加している」、 「報告内容をまとめ、討論にも参加している」（合格水準にある）。						
事前事後学習の内容	初回到発表順の分担を決定する。報告にあたっては、参考文献を複数冊読み込み、レジュメ作成にあたること。 卒業論文のテーマを意識しながら、史料や文献を読む勉強に取り組んでください。						
履修上の注意	無断欠席は認めません。毎回、史料や文献の予習をして臨んで下さい。						
質問、相談への対応	オフィスアワーなどを利用し対応します。面談を希望される場合は、事前にアポイントをとってください。オフィスアワーは、金曜3限に設定しています。						
教科書	講読で用いる文献と史料は初回に配布します。						
参考書	議論の内容をふまえ、適宜紹介します。						